

# 《会員の広場》

## 私の体験談

### 東部親和会 第一クラブ 小田 美佐子

私のいまあるこの幸せの切っ掛けは通り掛った所でグランドゴルフをしているのを見ていたら知人が親和会に入ればゴルフがやれると言うので、その直後に入れてもらいました。

当時私は腰が弱く、医者通いをしていました。昭和三十年前後に農家に嫁いだ多くの人は夫の両親兄妹と大勢の家族と一緒に物を共有しながら暮らしたものです。家のため、家族のためにとただ働くのみでした。今のように自分の好きな事、やりたい事など、とても出来る物ではなく、娯楽と言えども映画を見に行く程度で、外食だの喫茶店だの縁の遠い話でした。食べる事、増やす事に一生懸命でした。時代は変わり、親和会に入って生涯活動、奉仕活動、歌踊りにと自分に合ったクラブでみんな楽しんでます。私も小学校低学年には昔の遊び、高学年にはわらじ作りと、健康体操、ゴルフと寒中のみぞれ日、真夏の酷暑日も乗り切った後のよろこびは得も言えぬ充実感があり、みんな健康の為と、張切っています。こうした体験も仲間があってこそ類は類を呼び、同じ趣味で話が弾む「幸せは求めるものではなく生み出すもの」と読んだことがある。たとえ腰は曲がっていても、しわが多くても、みんな生き生きしている「友人との語らい、まさかこの年になってこんな楽しみがあるとは思わなかったね」親和会でいろいろな事を学び、多くの友達が出来、かけがえのない財産を得ました。つぶやき眠る前に「今日は小さな事でも誰かの喜ぶ事をしたか」「知らず知らずに誰かをキズつけてはいないか」は反省をしながらの一日です。

## レトロな「カラオケ」たち

### 蒲郡第三栄宝会 吉見 明次

私の人生は、道草を食った事が多く、お酒などと共に歩いてきた感じが致します。

呑み屋には、マイレコードのLP盤を置いて、歌唱を楽しんだ頃もありました。カラオケが盛んになると更に、はしご酒をして、よく唄ったものです。現在に残る懐メロの愛唱歌の多くは、今、耳にしても、私には、私の安息のララバイ(子守歌)として、心が癒される思いがします。

私は老人クラブに入会して8年になります。大塚寿楽荘と豊川市ゆうあいの里は、団体で研修用に会場として、かなり利用します。老人福祉センターは、設備はいろいろとあります。私は、舞台つき大広間にかじり付きです。そこでカラオケ。当初は会員同士の仲間作りに最適と、自分の幾多のおはこ(18番)を披露していましたが、流行りの歌がどうしても欲しくなります。根気よく、現在新曲で50曲。次に100曲へ向かって意欲を燃やしています。

近所のお医者さんに「年寄りには、年々食道と肺やその廻りの筋肉を鍛える為に、歌を歌う事。特に回復効果もありますよ。」と言われてます。また、歌う事は喉のコンディションが大切です。常に、うがい薬を水で薄めて保管して、1日数回はガラガラと喉を守っております。

老人クラブで「いつ・どこで歌う」と目標が順次ありますと、毎日の熱中が楽しく感じられます。

## 自転車大会に出場して

### 西浦第一悠々会 鈴木 みね

体育館には、少し早めに出かけ、受付を済ませて周りを見渡すと、大きな自転車と小さな自転車が見えて、私は小さな自転車を借りて乗ることにしました。少し練習する時間があったので、練習を始めてみたものの、なかなか難しく、足がつかえて上手に乗る事が出来ず、苦勞しました。しかし練習の効果もあり、少しは乗れる様になり、嬉しく思いました。ゼッケンを付けて、警察官のお話が終わり、競技指導を受け、三人一組で塩津チームから始まりました。

私達、西浦チームは一番最後という事で、ドキドキしながら順番を待っていました。私達チームは家ではなかなか練習が出来ていませんでした。が、他のチームの方は練習して来た様で、皆さん上手に乗っていました。でも自転車が倒れた人もいました。私達の最後のチームの順番がきました。最後ということで、皆さんが集中して見ておられ、すごく緊張しましたが、私は前に一度、この競技に参加した事があったので、上手ではありませんが、まあまあ乗れました。そして私達のチームの鈴木さんが個人で一位になり、チームとしては、3位になり、とても嬉しかったです。

私はもう歳なので、これで最後の自転車大会に出していただき嬉しく思っております。